

DX人材に必要な知識・能力

実務処理能力

実際の仕事(実務)を限られた時間内で完了(処理)するための力

MOS

(Microsoft Office Specialist)

パソコンスキルは、自己流で「使える」と、習得した適切な機能を「使いこなせる」とでは意味が異なります。実際にアプリケーションを操作する実技を学習するため、実践的なスキルが自然と身につきます!

P.17へ

問題解決力

今後の社会で必要とされる知識を身につけてビジネスを成功に導くための力

ビジネス統計スペシャリスト Excel分析ベーシック

データ分析の力を身につければ課題解決や新規提案などに必要なデータを多角的に理解できるようになります。

P.17へ

データ活用

IT・ソフトウェア

AI・ディープラーニング

3分野の知識を組み合わせることで、これからの社会に適応していく問題解決力が養われます。

G検定

(ジェネラリスト検定)

AIの基礎知識や活用リテラシーを身につけることができます。人間の知能をコンピュータにより再現する技術で、業務の効率化や課題解決に役立ちます。

P.17へ

ITパスポート

現代を生きる全社会人に必要な知識とされ、ITやデジタルリテラシー向上に役立つ基礎的な資格。

基本情報技術者

ITに関する知識だけではなく、プログラミングやコンピュータサイエンスを基礎から体系的に学べます。

P.19へ



なぜ企業がDX人材育成に力をいれるの?

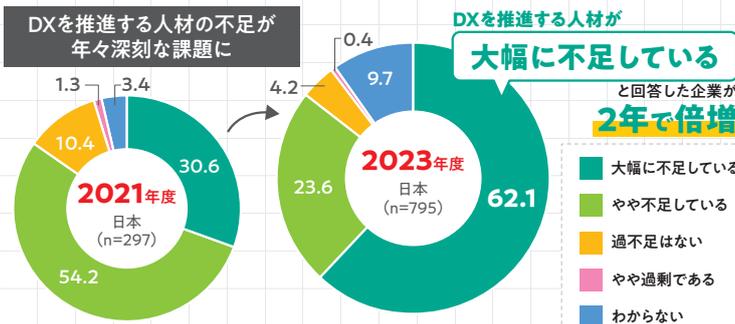
※DX:デジタルトランスフォーメーション

Point 1 2030年には40万人から80万人のデジタル人材が不足すると予測されており、DX推進に必要なIT人材は約150万人

Point 2 ChatGPTなどのAIの急速な進化により、AIを活用できる人材の必要性が高まっている

Point 3 経済産業省ではすべての業界にDX化を推進している

DX人材確保が企業の急務とされています!



【参考資料】「DX動向2024」(独立行政法人情報処理推進機構)を基に作成

在学中にDX知識を身につけておくことが重要です!

注目

**IT資格
取得推奨の
企業が急増!**

Case 1

サントリーホールディングス株式会社
デジタル人材を育成するための要素として、「データ活用する上での心構え」「分析の幅を広げる武器」の2つを設定し、「Excelプラサ」やG検定などの研修を開催・推奨中。

Case 2

コクヨ株式会社
「作る人(情報システム部門)だけでなく、使う人(事業部門)もITを理解しなければアイデアは創出されない」と考え、全社向けの教育啓蒙として「ITリテラシー向上プログラム」を企画し、G検定・ITパスポート合格をめざすプログラムを実施。

(参考資料) 一般社団法人日本ディープラーニング協会 <https://www.jdla.org/topic/seg/human/>